

# すな お

令和7年5月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮 英治

発行日 2025.5.16 通巻 No.778



会長



今月の16日で修養科一期講師も半分となります。今朝5月11日は朝の本部神殿掃除でした。4時半には掃除が始まりますのでうちのクラスの修養科生は女性ですから、ずいぶん早い時間から準備をして集合しています。そんなことから今朝も「早くからのひのきしん、たくさんお徳をいただける」と声を掛けました。

その後、私も神殿の結界や賽銭箱を拭かせていただきましたが、(あれ、まだ『もらう信仰を伝えている?』)と気付きました。日々の親神様からいただいている御守護の大きさが分かれば、どれほどつとめても返しきれないものである筈なのに(こんな中、一生懸命つとめているのだからお徳をいただけると考えている自分

は御恩の大きさが分かっていないなあ)と反省をしました。

残りの半分、自らが日々いただく御恩を大きく受け止め『御恩を返す信仰』を伝えていきたいと思いました。



## 御守護を感じたとき

二宮 真悟

先日、特殊伐採の仕事がありました。特殊伐採とは、近くに電線や建物などがあり根元から伐倒するのが難しい樹木を、クレーンやロープで吊り上げたりして伐採する作業のことをいいます。基本的に高所作業車が入れないシチュエーションが多く、登っていかなくてはなりません。「ただの剪定なら何でもないので」と思いながら、安全帯とヘルメットを装着しチェーンソーを片手に15m近くある木に登っていきます。

ちょうどその日は風の強く、木の頂上付近になってくると、風が吹く度にグラグラと揺さぶられます。10mもある所から落ちたらひとたまりもありませんから、ひと枝ひと枝登るたびに、神様。と、天に祈ります。自分の命がかかってくると、そういう時だけ真剣に神に祈っている自分はまだまだだなと思いました。慎重に慎重に作業を進め、何とか無事に終えることができました。

普段は何事も上手くやれているように思っておるのですが、自然の大きさに振り回される瞬間があると、やはり自分は神の手の内の中で護られているのだと再認識させられます。これが、ご守護なのか。とそう思えた一時でした。



## 岡山での生活で感じること

曾我部 治道

岡山で生活してはや1ヶ月が経ちました。家事や食事の準備、大学のことを全て自分でできる、自由である反面、思ったよりも大変でこれも大人になっていっているということなんだなと日々痛感しています。大学では友達もでき、輪を今も広げている最中です。サークルやゼミでの人との繋がりが増えてとてもありがたく、楽しく生活できています。

そして今年新しく立った校舎での勉強も頑張っています。他の大学では取れない科目も取らせてくれる柔軟な大学で、毎日の授業もとても楽しいです。大学での制度も、先生も充実していて、感謝の気持ちだけでなく、自分はここに来るようになっていたんだとまだ1ヶ月ですが思っています。

入学式で、「入学して正解だったかどうかはこれからの自分次第だ」と仰っていたので答え合わせは4年後になるけれど、楽しいことやしんどいことも「ありがたいな」と通らせてもらい、この4年間精一杯頑張りたいなと思います。

## 《教会ニュース》

### 少年会活動報告

4月27日に大西町にある鴨池海岸キャンプ場でデイキャンプをさせていただきました。参加者13人でBBQ台、テーブルやイスを積んで運び、まずはみんなでテント建てから始め、飯ごう、炭の火起こしと楽しく進めていきました。子供たちは海に足を入れて遊んでいました。貝類は焼くのに時間がかかるので七輪2台で焼きました。それぞれ大人も子供も出来る事を分担しながら賑やかに過ごしました。気候も良く目の前に広がる絶景を見ながらおいしくBBQを頂き、最後にゴミ拾い、片付けをしました。

教会としても少年会としても何か新しい活動がしたいと思い企画させていただきました。想像以上に楽しく大人も子供も外でご飯を炊いたり料理を作る貴重な時間になりました。こうした活動を通してただ楽しむだけでなく、輪を広げてにをいがけにつながるよう、一つ一つに思いを込めてつとめていきたいです。

